

令和5年度下半期下水道事業 業務状況説明書

1 事業の概況

良好な下水道サービスを提供するため、昨年度に引き続き、下水道未普及地域の解消、老朽化した下水道管やポンプ場設備の更新、浸水対策の推進に取り組みました。

管渠建設事業では、2,040,698,152円を投じ、下水道未普及地域に下水道管を新たに7,177m布設しました。また、災害時に指定避難所となる小学校等を対象に、災害用マンホールトイレを設置する工事を8箇所実施しました。さらに、横曽根第六排水区雨水管渠築造事業を始めとする浸水対策工事を実施しました。

管渠改良事業では、1,120,060,650円を投じ、老朽化した下水道管の更新工事等を実施し、下水道管2,213mを布設替しました。

ポンプ場建設改良事業では、953,047,900円を投じ、堅前橋ポンプ場2号沈砂掻揚機更新工事のほか、仲町排水ポンプ場ほか6カ所監視装置更新工事等を実施しました。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入における下水道使用料の決算額は6,372,091,245円で、予算現額6,511,143,000円に対し執行率97.9%、他会計負担金は1,914,039,200円で、予算現額2,014,504,000円に対し執行率95.0%となりました。

これらに、その他営業収益、長期前受金戻入、国庫補助金等を加えた収入総額は11,347,122,729円で、予算現額11,499,315,000円に対し執行率98.7%となりました。

一方、収益的支出の決算額は9,429,995,810円で、予算現額10,172,821,000円に対し92.7%の執行率となりました。主な内訳は、営業費用8,817,484,231円、企業債の支払利息607,931,671円、特別損失4,317,849円となっています。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は1,917,126,919円となりました。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の主なものは企業債3,356,400,000円、他会計出資金480,000,000円で、このほか、他会計補助金、国庫補助金等を加えた決算額は4,507,915,899円となり、予算現額5,807,333,000円に対し77.6%の執行率となりました。

一方、資本的支出の決算額は8,352,840,404円で、予算現額9,421,696,000円に対し88.7%の執行率となりました。内訳は、建設改良費4,607,600,387円、企業債償還金3,745,240,017円となっています。

3 排水状況

本年度末日の水洗化人口は508,752人で、前年度に比べ3,717人(0.7%)増、水洗化世帯数は258,197世帯で、前年度に比べ4,816世帯(1.9%)の増となっています。

年間総排水量は54,571,686^m³で、前年度に比べて1,798,883^m³(3.2%)の減となり、有収水量は51,043,066^m³、有収率は93.53%となっています。

収益的収入及び支出

1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
下水道使用料	6,511,143,000	6,372,091,245	△ 139,051,755	97.9
他会計負担金	2,014,504,000	1,914,039,200	△ 100,464,800	95.0
その他営業収益	2,477,000	2,796,050	319,050	112.9
他会計補助金	127,839,000	105,150,627	△ 22,688,373	82.3
国庫補助金	34,780,000	17,390,000	△ 17,390,000	50.0
長期前受金戻入	2,807,581,000	2,840,597,519	33,016,519	101.2
雑収益	990,000	13,720,962	12,730,962	1386.0
受取利息	0	212,076	212,076	—
消費税及び地方消費税還付金	0	47,374,330	47,374,330	—
過年度損益修正益	1,000	10,457	9,457	1045.7
その他特別利益	0	33,740,263	33,740,263	—
計	11,499,315,000	11,347,122,729	△ 152,192,271	98.7

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
管渠費	622,653,288	575,552,400	47,100,888	92.4
ポンプ場費	749,263,000	655,393,779	93,869,221	87.5
普及促進費	123,340,712	88,884,485	34,456,227	72.1
業務費	349,702,000	342,877,883	6,824,117	98.0
総係費	261,949,000	190,147,930	71,801,070	72.6
流域下水道維持管理費負担金	2,387,942,000	2,009,060,790	378,881,210	84.1
減価償却費	4,973,195,000	4,939,536,951	33,658,049	99.3
資産減耗費	12,058,000	16,030,013	△ 3,972,013	132.9
支払利息	616,688,000	607,931,671	8,756,329	98.6
消費税及び地方消費税	39,723,000	0	39,723,000	0.0
雑支出	141,000	262,059	△ 121,059	185.9
固定資産売却損	531,000	154,049	376,951	29.0
過年度損益修正損	5,635,000	4,163,800	1,471,200	73.9
予備費	30,000,000	0	30,000,000	0.0
計	10,172,821,000	9,429,995,810	742,825,190	92.7

(消費税及び地方消費税込みで表示)

資本的収入及び支出

1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
企業債	4,000,900,000	3,356,400,000	△ 644,500,000	83.9
他会計出資金	801,826,000	480,000,000	△ 321,826,000	59.9
他会計補助金	126,695,000	126,694,359	△ 641	100.0
国庫補助金	805,226,000	448,640,000	△ 356,586,000	55.7
固定資産売却代金	34,000	258,460	224,460	760.2
受託工事収入	72,652,000	95,923,080	23,271,080	132.0
計	5,807,333,000	4,507,915,899	△ 1,299,417,101	77.6

(消費税及び地方消費税込みで表示)

2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
建設改良費	5,676,455,000	4,607,600,387	1,068,854,613	81.2
企業債償還金	3,745,241,000	3,745,240,017	983	100.0
計	9,421,696,000	8,352,840,404	1,068,855,596	88.7

(消費税及び地方消費税込みで表示)

排水の状況

区分	A 令和5年度	B 令和4年度	C 差引 (A-B)	増減率 C/B (%)
水洗化人口 (人)	508,752	505,035	3,717	0.7
水洗化世帯数 (世帯)	258,197	253,381	4,816	1.9
総排水量 (m ³)	54,571,686	56,370,569	△ 1,798,883	△ 3.2
1日平均排水量 (m ³)	149,103	154,440	△ 5,337	△ 3.5

地方債現在高

令和6年3月31日現在

1 地方債

借入先	下水道会計
財政融資資金	千円 41,179,726
簡易生命保険資金	1,480,800
地方公共団体金融機構	9,557,259
市中銀行	529,340
合計	52,747,125

※市中銀行…埼玉りそな銀行、きらぼし銀行、川口信用金庫、青木信用金庫

令和6年度下水道事業 予算概要

1 事業の概況

本市下水道事業は、「川口市下水道ビジョン」において、「安全で快適な暮らしを未来へつなぐ 川口の下水道」を理念として掲げています。

この理念を実現するため、令和6年度当初予算において、下水道未普及地域の解消、老朽化した管渠等の更新、浸水対策の推進のために必要な経費を計上し、今後も良好な下水道サービスを持続的に提供できるよう努めていきます。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入の合計額は11,422,207千円で、前年度に比べ77,108千円（0.7%）の減を見込んでいます。減額の主な理由は、下水道使用料、他会計負担金が減少したことによるものです。

収益的支出の合計額は10,135,202千円で、前年度に比べ37,619千円（0.4%）の減となっています。減額の主な理由は、流域下水道維持管理費負担金が減少したことによるものです。

（2）資本的収支の状況

資本的収入の合計額は5,198,180千円で、内訳は、企業債3,553,300千円、他会計出資金656,214千円、他会計補助金132,174千円、国庫補助金803,048千円、固定資産売却代金39千円、受託工事収入53,405千円となっています。

資本的支出の合計額は8,670,798千円で、内訳は、建設改良費5,058,572千円、企業債償還金3,612,226千円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3,472,618千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額354,765千円、減債積立金1,130,000千円、過年度分損益勘定留保資金1,191,568千円、当年度分損益勘定留保資金796,285千円で補てんします。

3 汚水処理状況

令和6年度の総排水量は61,817,000 m³、有収水量は49,580,661 m³、予定有収率は80.21%を見込んでいます。